5

202309KeMCo

View Report

Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser

KeMCo

Keio
Object
Hub

慶應義塾大学は夏休み中でキャンパスの人通りもまばらですが、KeMCoはトーク・イベントや展覧会の準備で大忙しです。
そんなKeMCoに、とても嬉しく誇らしいお知らせが届きました。「KeMCoの近況」でお知らせします。

KeMCoの近況

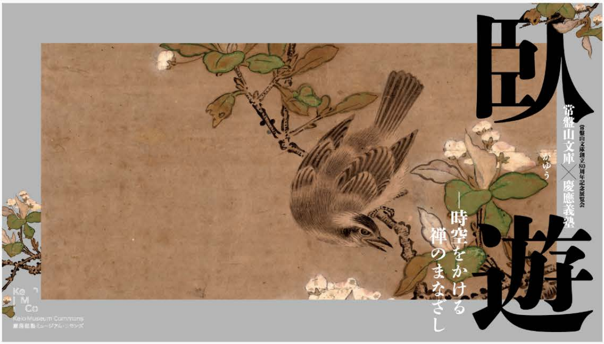
Keio Object Hubがデジタルアーカイブジャパン・アワード2023を受賞しました

DIGITAL
ARCHIVE
JAPAN
AWARD

Keio Object Hubは、慶應義塾の文化財や学術資料をワンストップで閲覧できるポータルサイトで、慶應義塾のさまざまな人々や組織のサポートのもと、慶應義塾ミュージアム・コモンズが運営しています。慶應義塾の研究・教育の多様性を反映し、世界のさまざまな地域や文化に根ざした23のコレクションと、15,000点を超える資料が公開されています。この度、Keio Object Hubが「デジタルアーカイブジャパン・アワード2023」を受賞致しました。

デジタルアーカイブジャパン・アワード（DAJアワード）

【次回展】常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし


臥遊
がゆう
常盤山文庫×慶應義塾
常盤山文庫創立80周年記念展覧会
—時空をかける禅のまなざし
KeMCo
Keio Museum Commons
慶應義塾ミュージアム・コモンズ

慶應義塾ミュージアム・コモンズは、常盤山文庫コレクションと慶應義塾の収蔵品より、禅宗の美術の展覧会を開催します。鎌倉時代、禅宗とともに日本に入り、禅寺で珍重された中国文化。それらは宗教の枠組みを越えて日本の風土のなかで広がり、室町文化の土壌となりました。本展は、時空をこえて広がる禅僧のまなざしを想像しながら、かれらがあこがれた聖人、心に思い描いた山水の世界を、臥遊の境地でゆったりと楽しむ展覧会です。

常盤山文庫は、1943年に実業家菅原通濟がその母体を築いたコレクションで、その一部は、慶應義塾に寄託されています。常盤山文庫の創立80周年を記念した本展では、寄託品のなかから、室町絵画の名品を中心に紹介します。併せて、慶應義塾の収蔵品より、一休や雪舟の作品を、2021年の寄贈後初めて披露します。

※臥遊（がゆう）＝寝そべりながら、山水の絵を眺めて、その世界に遊んだ気持ちになること

常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし
会期｜2023年10月2日（月）～12月1日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜10月14日（土）、11月25日（土）
臨時休館｜10月16日（月）、11月20日（月）
※期間中に展示箇所の入れ替えをする作品がございます。詳細はウェブサイトでお知らせします。
会場｜慶応義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
対象｜どなたでもご覧いただけます・事前予約不要
費用｜無料
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、公益財団法人常盤山文庫
協力｜慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫

常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし

トーク・イベント「エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ」を開催します

ICA
Institute of Contemporary Arts
EXTRA ART:
ALL BY YOURSELF
FIGURATIVE BY DAN GRAHAM
Extra Art: A Survey of Artists' Ephemera, 1960-1999
Exhibition

展覧会のチラシやポスターのように長期的な使用や保存を本来の目的とせず、安価で一時的なものとして普及する印刷物を「エフェメラ」と呼びます。それらは限られた期間で消えゆくものとして「ephemera=1日だけの、短命な」の言葉が与えられますが、出来事や時代の空気を伝える重要なアイテムでもあり、蒐集の対象ともなってきました。
慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、2024年3月から特に美術領域における「エフェメラ」に焦点を当てた展覧会を企画し、それに先駆けトーク・イベントを開催いたします。

トーク・イベントでは、ライブラリー、ミュージアム、そしてアーカイヴといった異なる文化施設・領域からみた「エフェメラ」の位置付けと、それらをめぐる今日的関心について議論していきます。

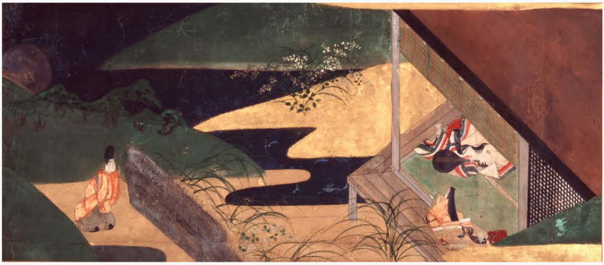
トーク・イベント「エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ」

登壇者：
山田志麻子氏（うらわ美術館）／北村智仁氏（都立図書館、慶應義塾大学大学院）／渡部葉子（慶應義塾大学アート・センター／KeMCo）
日時 ：2023年9月16日（土）13:30–15:30
会場 ：慶應義塾大学三田キャンパス G-lab（東館6階）
対象 ：どなたでもご参加いただけます（無料、事前予約制）
共催：慶應義塾ミュージアム・コモンズ、特定非営利活動法人Japan Cultural Research Institute

*ご予約は Peatix からお願いいたします。

【トーク・イベント】エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ

和泉市久保惣記念美術館「宗達－物語の風景 源氏・伊勢・西行－」に出品



伝俵屋宗達筆《源氏物語 橋姫図》江戸時代（17世紀)、センチュリー赤尾コレクション

和泉市久保惣記念美術館特別展「宗達－物語の風景 源氏・伊勢・西行－」（9月17日（日）～11月12日（日））に、伝俵屋宗達筆《源氏物語 橋姫図》（センチュリー赤尾コレクション）を出品します。
本作は、「橋姫」の巻の一場面を描いたもの。宇治の山荘で、八宮の２人の姫君（大君・中君）たちが、琴と琵琶を合奏する姿を、たまたま訪れた薫が覗き見ています。

作品詳細は**こちら**
展覧会詳細は**こちら**

和泉市久保惣記念美術館特別展「宗達－物語の風景 源氏・伊勢・西行－」

Open StudI/O! #08

Keio Object Hub（KOH）がデジタルアーカイブジャパン推進委員会によるデジタルアーカイブジャパン・アワードを受賞しました。1990年代の貴重書のデジタルアーカイブ関するHUMIプロジェクトをはじめてとして、最近のKOHに至る義塾の長期間の継続的な取り組みをご評価いただきました。関係者の一人として感謝申し上げるとともに、大きな応援を頂いたものと嬉しく感じています。KeMCoはそれ自身がひとつのミュージアムですが、その枠を超えた、義塾全般の文化財・学術資料のデジタルデータの活用もミッションの柱としています。KeMCoが運営するKOHは部署やキャンパスの垣根を越えて、義塾が所蔵する文化財・学術資料のデジタルデータを集約し、統一的に検索できるサービスを提供しています。集約されたデータを我が国の横断的な検索サービスであるジャパンサーチに繋げる「とりまとめ役」も担っています。このような活動により、インターネットを介して世界中から義塾の文化財・学術資料のデータにアクセスできるようになっています。KeMCoが目指すところは、文化財・学術資料のデジタル活用にあり、デジタル活用を織り込んだ新しい教育や研究の取り組みも始まっています。引き続き皆様からのご支援を頂けましたら幸いです。

重野 寛（KeMCo副機構長）

空き地

KeMCoではSDGs活動に取り組んでおります。昨年7月には慶應義塾中等部、慶應義塾グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）で協働して、SDGsをテーマにしたワークショップや学内で排出されたごみを活用して作品を制作する成果展示会を開催しました。
今年はSDGs活動の一環として、「土づくり」のアート・プロジェクトを展開されているメディア・アーティストの三原聡一郎さんをお迎えし、「コンポストづくり」に挑戦します。コンポストとは生ごみや葉っぱ等の有機物を微生物の力を借りて発酵・分解させることで作られる堆肥です。
コンポストをつくる機械は三原さん制作の「装置」で、ひとつは乾燥バケツ、残りふたつには「慶應」「青森」という地名が表示されており、各地で調達した植物の葉っぱ等の有機物からなる基材が入っています。ここにKeMCoで集められたお茶がらや、お昼に食べたミカンの皮等の有機ごみを集め、コンポストの材料として投入していきます。
日々のコンポストの様子は、学生スタッフKeMiCoが中心となり「note」に連載しています。こちらもぜひご覧ください。

眞下 菜穂（KeMCo）

note「ケムコンポスト」

お知らせ

三田でご覧いただける展示

特別企画　三田につるの屋があった頃（仮）
9月20日(水)～10月7日(土)
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

第359回企画展示：悠久の時を感じて－高校教科書に載る歴史の足跡－
後期｜8月21日（月）～**9月22日（金）**
主催｜三田メディアセンター展示委員会

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2023年10月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2023 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan